

Monthly Report

- I. 公益社団法人に移行しました
- II. 新しい事務局体制について
- III. グリーフキャンプが始まりました
- IV. 出会いと体験の森へ「キャンプリーダー交流塾」
 - ・ NCAJ CALENDAR
 - ・ 各都道府県キャンプ協会事務局担当者のみなさまへ
 - ・ TOPICS

新年度を迎えてからはや1か月が過ぎようとしていますが、この年度の変わり目に大きな出来事がいくつもありました。個々については、このあとご紹介しますが、この「Monthly Report(マンスリー・レポート)」も新しい取り組みのひとつです。

これまで『CAMPING』や各種委員会、事務局担当者会などを通じた情報共有を図ってきましたが、必ずしも十分とは言えない状況がありました。そこで、理事、専門委員、都道府県キャンプ協会事務局および役員などの方々に協会の動きをお知らせする媒体として、毎月(25日ごろ)、このMonthly Reportを発行することにしました。各都道府県協会での取り組みなども紹介できればと考えていますので、情報提供も合わせてお願いいたします。

事務局長 金山竜也

都道府県キャンプ協会事務局担当者のみなさまへ：県協会内での情報共有を図るため、協会役員の方々への転送をお願いいたします。

I. 公益社団法人に移行しました

日本キャンプ協会は、2012年4月1日をもって公益社団法人へ移行し、名称を公益社団法人日本キャンプ協会に変更しました。今後は公益法人として、より活発に事業を展開したいと思いますので、引き続きのご協力をお願いします。

公益社団法人日本キャンプ協会定款・事業計画等は、こちらをご覧ください。 <http://www.camping.or.jp/outline/>

II. 新しい事務局体制について

13年以上にわたって事務局長を務めてきました吉田大郎が3月末で退任し、4月より金山竜也が事務局長に就任いたしました。慣れぬことばかりで、ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。吉田大郎につきましては、静岡県立朝霧野外活動センター所長を引き続き務めます。

なお、3月末で退職しました高瀬宏樹は、4月より国立赤城青少年交流の家に勤務しております。同じ野外活動の分野での仕事ですので、今後もよろしくお願い申し上げます。

事務局スタッフと主な担当業務は以下の通りです。

氏名	役職	主な担当業務
金山 竜也	事務局長	全体統括・グリーフキャンプ・アカデミー・国際・法人業務
秋山 千草	事務局次長	法人業務全般（朝霧野外活動センター分含む）
幾田 雅彦	主幹（賛助会準備室長兼任）	会員（個人・団体）管理・BUC・賛助会開設に向けた準備
戸室 勇児	主幹	指導者養成（講習会・カリキュラム）・ホームページ
吉野 宏美	主事	グリーフキャンプ・CAMPING・アカデミー・キャンプ研究

Ⅲ. グリーフキャンプが始まりました

昨年来準備を続けてきたグリーフキャンプですが、3月25日(日)～29日(木)の4泊5日で初めてのキャンプを行いました。本事業の共同主催団体のひとつである朝日新聞厚生文化事業団が実施する「こども応援金」(震災によって両親を亡くした子どもたちを対象にした支援金制度)の応募者を対象に案内を行ったところ、11名の応募がありましたが、1名が直前に病欠となってしまう、小学2年生から高校3年生までの10名が参加しました。



行き先は台湾です。「どこか暖かいところへ行きたい」と場所を探しているうちに、台湾で受け入れてくださることになりました。台湾オートキャンプ協会や台湾林務局、国立台湾師範大学などの協力を得て、台湾の美しい自然と活気あふれる多様な文化を満喫しました。



当初、子どもたちは初めての海外にとっても緊張している様子でしたが、グループで活動するうちに表情が変化してきました。メンバー間の関係や、メンバーとグループカウンセラーの関係も1日ごとに大きく変化し、「キャンプの力」を感じるとともに、「このプロジェクトはうまくいくに違いない」という確信のようなものを持ちました。ずいぶん楽観的だと自分でもあきれますが、とにかく暖かい気持ちでキャンプを終えたのは確かです。

もちろん、実際にプロジェクトを成功させるには、クリアしなくてはならない多くの課題があります。今回、宮城県キャンプ協会やYMCAなど複数の団体からスタッフを出していただきましたが、それぞれに「この子どもたちにどのように接すればいいのか」と悩んでいたようでした。「大変な思いをさせたな」と申し訳なく思う部分もありますが、グリーフキャンプという新しい取り組みにおいて、私自身も「こうすればいい」という正解を持っているわけではありません。今後もスタッフとして関わってくれる人たちとともに試行錯誤をしながら、経験を積み重ねることが必要なのだらうと思います。キャンプカウンセリングについて改めて考えてみることも必要ですし、グリーフについての学びを深めることも必要です。また、この取り組みを多くの人に知ってもらい、協力者を増やす努力も欠かせません。



東日本大震災で両親を亡くした子どもは280人を超えと言われています。もちろん、それ以外にも大きな喪失を体験した子どもたちが多くいます。10人という少人数でスタートしたキャンプですが、ゆっくりとていねいに育てていきたいと思っています。

このキャンプの様子は『CAMPING』147号でご紹介する予定です。

Ⅳ. 出会いと体験の森へ「キャンプリーダー交流塾」

第二期の「出会いと体験の森へ」の事業は、大学生世代の若手リーダーを対象とした交流塾です。座学と春・秋2回のイベントでの実習を通して、団体の枠を超えた交流が生まれます。

初回交流塾は5月20日(日)、申込み締切は5月7日(月)です。要項をよくお読みのうえ、若手リーダーの参加をうながしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

「リーダー交流塾」実施要項 <http://www.camping.or.jp/2012kouryujuku.pdf>

NCAJ CALENDAR

これまで

3/24	平成 23 年度第 2 回総会	平成 24 年度事業計画・予算等を審議
3/25	平成 23 年度第 3 回全国事務局担当者会	
3-25-29	こどもキャンプ in 台湾 (グリーンキャンプ)	@東眼山自然教育センター・台北等
4/1	公益社団法人へ移行	
4/1	CAMPING 146 号発行	特集「トレーニング」・H24 事業計画
4/9	平成 24 年度第 1 回 CAMPING 編集会議	148 号の内容検討
4/17	CONE 安全委員会	出席者：金山
4/18	出会いと体験の森へ実行委員会	出席者：金山 幾田 吉田
4/19	平成 24 年度第 1 回常務会	事業分担当等を検討
4/21-22	ちょっといい春感じませんか	@静岡県立朝霧野外活動センター

これから

5/17	ワークショップ「Jorgi, the Camp !」	18 時より@国立青少年総合センター
5/20-21	金環日食 in あさぎり～富士山と見る天体ショー～	@静岡県立朝霧野外活動センター
5/26	平成 24 年度第 1 回理事会	9 時より@国立青少年総合センター
5/26	平成 24 年第 1 回総会	11 時より@国立青少年総合センター
5/26	Camp Meeting in Japan 第 16 回キャンプ会議	13 時より@国立青少年総合センター
5/26	課程認定団体指導者研修会	13 時より@国立青少年総合センター
5/27	平成 24 年度第 1 回都道府県キャンプ協会指導者研修会	9 時より@国立青少年総合センター

ジ ョ キ ー ザ キ ャ ン プ !

Jorgi, the Camp!

楽しいキャンプとキャンプリーダーの役割 (BUC 対象事業)

「楽しいキャンプ」は、ただ単に楽しいアクティビティを組み合わせるだけでは実現できません。キャンパー同士の関わり合いによって、楽しさの質は大きく変わるものです。そこで重要になってくるのが、キャンパーとともに活動を行うキャンプリーダーの役割です。

本ワークショップでは、カナダで長年にわたってキャンプに携わってきた John Jorgenson さんに、楽しいアイスブレイクのアクティビティを交えながら、キャンプリーダーの役割についてお話をうかがいます。(通訳あり)



日 程：5 月 17 日(木) 午後 6 時～8 時

会 場：国立青少年総合センター センター棟 402

参加費：2,000 円 (一般) 1,500 円 (会員※) 500 円 (学生) ※日本キャンプ協会・ICF・AOCF の会員

主 催：公益社団法人日本キャンプ協会・ICF Friends in Japan

お申し込みは WEB フォームをお使いください。 <http://goo.gl/IFXRO> (大文字・小文字を区別)

Camp Meeting in Japan 2012

第 16 回日本キャンプ会議 (BUC 対象事業)

今年の Camp Meeting は『震災』を重点テーマとし、いま、私たちにできることを考える機会にしたいと思います。キャンプを通して個人でできること・みんなで取り組めることを考えてみませんか。

事例発表に加えて、今回は特別講演「グリーンキャンプにできること」(講師：西田正弘さんてとてとて代表)を設けています。本プロジェクトのグリーンケアに関するスーパーバイザーの西田さんに台湾で行ったキャンプのようすも交えてお話しいただき、グリーンキャンプの可能性を考える機会としたいと考えています。



日 程：2012 年 5 月 26 日 (土) 13:00～

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区・小田急参宮橋駅より 7 分)

参加費：2,500 円 (会員・学生) 3,000 円 (一般) 3,000 円 (当日受付) ※抄録集含む

開催要項はこちら [http://www.camping.or.jp/camp_meet\(16\).pdf](http://www.camping.or.jp/camp_meet(16).pdf)

BUC や各種研修等は日本キャンプ協会 WEB サイト内「イベントカレンダー」でもご紹介しています。

各都道府県キャンプ協会事務局担当者のみなさまへ

全国事務局担当者会等で提出をお願いしている文書の一覧です。ご不明の点がありましたら事務局までお問い合わせください。

名称	提出期限	備考
平成 24 年度正会員選任届	-	決定後すみやかにお願いします
都道府県キャンプ協会規約（定款）	-	改訂完了後すみやかにお願いします
事業報告書および決算書	-	総会終了後すみやかにお願いします
平成 24 年度宝くじ助成事業関係アンケート	4 月中	テントの配備
CAMPING AWARD 2012 の推薦について	5 月中	推薦者がいる場合のみ・表彰は第 2 回総会にて
公益社団法人日本キャンプ協会 加盟申込書	5 月中	
業務提携契約書	10 月	

TOPICS

SeriousFun Children's Network

小児がんなど、重い病気の子どもたちのためのキャンプの世界的ネットワークであるホール・イン・ザ・ウォール協会(Association of Hole in the Wall Camps)が名称変更し、SeriousFun Children's Network となりました。

Hole in the Wall という名称は、この協会の設立者である俳優の故ポール・ニューマンの代表作のひとつ『明日に向かって撃て』にちなんで付けられたものですが、より協会の使命を明確にするために、「Serious Fun (本気で楽しむ)」を団体の名称とすることにしました。この名称変更は、闘病中の子どもたちが「子どもらしい時間」を過ごすために、本気で楽しむことのできるキャンプをより多く提供するという決意表明でもあります。



笑顔が表現された新しいロゴマーク (クリックで WEB を表示)

2012 年度自然体験活動支援事業

第11回 トム・ソーヤースクール企画コンテスト

公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団では、子どもたちの「自活力」や「協調性」を育む自然体験活動の実施を推進し、その企画力の向上を図るために、全国からユニークな自然体験活動のアイデアを募集して、審査の上、50 団体に実施支援金(10 万円)を贈呈します。さらに、その活動報告を受け、特に優れた活動を「文部科学大臣奨励賞」、「安藤百福賞」などとして選考し、表彰します。

主 催：公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団

内 容：子どもたちが参加する、自然の中での体験活動であれば、内容は問いませんが、ユニークさと創造性にあふれ、高い教育効果が得られる活動とします。

対象団体：定款・規約等が整備され、組織としての形態を有し、当該活動を主催する団体。

小中学生が 10 名以上参加する企画であること。

応募締切：5 月 17 日(木) 必着

詳細はこちらをご覧ください。 <http://www.shizen-taiken.com/contest2012/2012infof.html>



公益社団法人日本キャンプ協会 Monthly Report vol.1 2012/04/25

発行者：公益社団法人日本キャンプ協会 事務局長 金山竜也

お問い合わせ・電話：03-3469-0217

e-mail: ncaj@camping.or.jp

